

まずは行ってみよう！

一般開業医のための 訪問歯科診療入門

高橋英登 編著代表

岩部弘昌・山口弘志・遠山佳之・坂入大介 編著

岩田美穂子・松浦由佳・岩間さおり 著

第2版

W e l c o m e

t o

D e n t a l

O f f i c e



医歯薬出版株式会社

 訪問診療の依頼

最初の依頼は、以前通院していた患者さんや現在通院してもらっている方からの場合が多いと思います。その依頼内容は義歯の不具合、疼痛、補綴物の脱離、口臭などの歯科的なものでしょうが、まず最初に全身状態、現病歴や既往歴などの健康状態と、介護保険を使っているかどうかの確認が必要です。訪問診療先の患者さんの多くは介護保険を利用していますが、その場合には、私たちになじみの深い「医療保険」とは違ったルールが適用されるためです。

介護保険を使っていない場合には、歯科独自で医療保険のみを使って訪問可能ですし、もちろん自費であればなんら制約はありません。

 依頼を受けたら聞いておくこと

訪問診療の依頼を受けるときには、表1に示すような事項をお聞きします。聞き洩らしがないように、また訪問を依頼した方に記入してもらいやすいように、「歯科訪問申込書（P.31、図4参照）」を作っておくとよいでしょう。表1は当院の情報収集項目ですが、☆を付した4項目については、十分に聞き取りをしてください。

1. 通院困難な理由

ときには通院可能な方からの依頼もあるので、他の医療サービスを在宅で受けているかといった「訪問診療が必要である」という事実確認が必要です。

訪問診療の対象者となるのは、「通院による治療が困難な方」であり、医療保険でも「通院が容易な者に対して安易に算定してはならない」とされており、以下のような適用例が示されています。

- ① 在宅または施設で疾病、傷病で療養している場合。
- ② 知的あるいは精神的な障害により、通院困難な場合。
- ③ 車椅子を常時使って生活している場合（例：背髄損傷による全身麻痺、末期がんの全身転移により横になり休むこともままならない場合など）。
- ④ 通常は在宅療養者でも、在宅ではどうしても治療方法が限られる、あるいはパノラマX線写真撮影の必要性や緊急時の検査などの理由により1～2度外来診療を受けたような方でも、訪問可能です。

訪問診療の保険請求のしくみ

訪問診療の保険のしくみは「医療保険」と「介護保険」の2者から成り立っています。訪問先が施設か在宅か、および介護認定の有無によって、請求方法が異なります。

要介護認定を受けている方は、医療保険における各種指導・管理（歯在管・訪衛指）に代わり、介護保険（居宅療養管理指導）優先で請求しなければなりません（表4）。

表4 要介護認定の有無による訪問診療請求のちがい

	要介護認定なし	要介護認定あり
在宅	医療保険 ・ 歯科訪問診療料 ・ 指導・管理（歯在管・訪衛指） ・ 処置・手術・歯冠修復欠損補綴	介護保険＋医療保険 ・ 歯科訪問診療料 ・ 居宅療養管理指導 ・ 処置・手術・歯冠修復欠損補綴
施設	医療保険／上記に同じ	医療保険

居宅療養管理指導とは

要介護認定の患者さんに対し、歯科医師あるいは歯科衛生士が口腔管理指導計画にそって必要とされる指導や助言を行うことです。

介護区分（要介護か要支援）、訪問先で診療する人数が1人か2人以上なのか、指導するのが歯科医師か歯科衛生士なのかで、算定要件や算定単位、算定可能回数が違うため表5にまとめました。

訪問診療の医療保険・介護保険の請求項目

医療保険の各種管理（歯管や医管）と指導（実地指）は訪問診療では名前が変わります。また介護保険の有無によっても異なります。さらに、取得している施設基準によって各種加算点数が異なります。表6, 7を参照してください。

1. 歯科訪問診療料 ※（ ）内は70/100

1. 歯科訪問診療 1 1,036点（725点）
2. 歯科訪問診療 2（2人～9人） 338点（237点）
3. 歯科訪問診療 3（10人以上） 175点（123点）

・在宅患者等急性歯科疾患対応加算（170点、55点）が歯科訪問診療料に包括されました。

 各診療に必要な器材

この項では、各診療に必要な器材を示します。

これらは訪問診療初心者用に、しかも簡単な処置を前提として、通常の診療室にあると予想される器材から選んであります。ただし、診療のスタイルは術者によって異なると思いますので、自分の診療スタイルをシミュレーションして必要な器材をリストアップしてください。

あまり多くの物をもっていくわけにはいきませんが、訪問診療に忘れ物は禁物ですので、注意してください。

下記器材のほかに、表 2(P.55)に示した「毎回の診療に必要なもの」を持参します。ポータブルエンジンは、最初は技工用のエンジンでよいのですが、コントラアングルヘッドに変えられない点は不便です。

 目的別必要器材**1. 有床義歯への対応**

- ① 診療内容：修理、床適合（リライニング）、褥瘡に対する調整。
- ② 必要器材：ポータブルエンジン（図 10）、切削・研磨用具、デンフィット、瞬間接着剤（図 11）、即時重合レジン（図 12）、リライニング（リベース）材（図 13）、咬合紙、補強線（図 14）、プライヤー、ニッパー、義歯洗浄剤（図 15）、お湯（魔法瓶に入れて持参）（図 16）、ワセリン（図 17）。

2. 歯冠修復物への対応

新たな作製は難しい場合が多く、再装着での対応が主となります。

- ① 診療内容：脱離修復物の再装着。
- ② 必要器材：ポータブルエンジン、切削・研磨用具、合着用セメント、接着性レジンセメント（図 18）、光照射器（図 19）、エアー缶（図 20）。

3. 齲蝕歯への対応

高齢者の場合、加齢や薬剤の副作用による唾液の減少なども影響して、しばしば根面齲蝕が発生しています。

- ① 診療内容：小さな齲蝕の除去と充填。
- ② 必要器材：ポータブルエンジン、切削・研磨用具、スプーンエキスカベータ（図 21）、充填用グラスアイオノマーセメント、光重合型コンポジットレジン、CR 充填器、光照射器、咬合紙。



図10 ポータブルエンジンはコントラアングルヘッドがあると便利だが、とりあえず技工用エンジンでも可



図11 瞬間接着剤は破折義歯の仮着に便利だが、新品でないのならノズル部分が硬化していないことを確認しておく



図12 自分の好みの即時重合レジンを選択し、密閉型容器に入れて持ち運べるようにしておく



図13 訪問診療では、有床義歯のリライニングが特に有効な治療手段となる



図14 義歯用の補強線は、診療室で使い慣れたものを使用すればよい



図15 義歯洗浄剤のポリデント フレッシュクレンズ（ジーシー）は洗浄効果が高く、家庭でも使用できる



図16 小型魔法瓶は、お湯だけでなく、溶かした寒天印象材を持ち運ぶのにも使用できる



図17 皮膚科用の軟膏基剤であるソルベースは、通販で入手可能で、水溶性ワセリン（分離材）として使用できる

① 必要な書類の確認（図9）

カルテや必要な書類を確認します。
 前回の診療の請求書や領収書も忘れずに用意します。



② 器材の用意（図10）

訪問診療では忘れ物は許されません。
 その日の診療内容をチェックし、必要なら持ち物リストを作製して忘れ物を防止します。
 運搬には持ちやすく、中身が見えて取り出しやすい大型バスケットが便利です。



③ 荷物の積み込み（図11）

この日はポータブルユニットを使用するため、車に積み込んでいます。



④ 出発（図12）

井荻歯科医院では訪問診療専用車を用意していますが、一般的には自家用車や、タクシーなどの公共交通機関を使用することと思います。
 交通渋滞の情報もあらかじめ取得しておき、それに応じて出発時間を決定します。



⑤ 目的地を探す（図13）

初診であればカーナビや印刷しておいた地図をたよりに目的地に向かいます。
 この日は再診なので場所はわかっています。



3章

当院の訪問診療の現在

さらなる診療内容の充実

訪問診療が軌道に乗り、今後も継続する、またさらに拡大する見込みであればポータブルユニットや、ポータブルX線撮影装置などの購入を検討してもよいかもしれません。所有する器材が充実すると診療範囲が広がります。

ポータブルユニットには通常、エアータービン、電気エンジン、超音波スケーラー、スリーウェイシリンジ、バキュームが付属しています。

以下に、ポータブルユニットを用いたメタルクラウンの症例を示します。



図 58 ポータブルユニットには通常のユニットに付属している器具がコンパクトにまとめられている



図 59 ポータブルユニットのタービンを用いてメタルクラウンの支台歯形成を行った



図 60 持参した印象採得用具一式。魔法瓶の中には溶解した寒天カートリッジと熱めの湯が入っている



図 61 キッチンを貸していただき、アルジネート印象材を練和した



図 62 寒天カートリッジをシリンジにセットし、再び湯につけておく